

# 日本赤十字社の会報に掲載されました！

はじめまして、今年からこちらの会に入会させて頂きました、齊藤勝好と申します。何卒よろしくお願ひ致します。

以前の私は、会社経営(印刷会社)をしておりまして、利益追求、どうしたら自分の所にお金が入ってくるか、と言う事ばかりに気を取られていました。まあ資本主義社会の世の中で、会社経営をしていたら当たり前のことかもしれませんが、完全に利己主義でした。経営がうまく行っている時は良いのですが、東北大震災で仕事がパタッと止まり、経営の危機を



## 私の履歴書

齊藤勝好

中学2年〜3年

中学2年の二学期から正式に通う様になった川崎予備校。入った時はかなり面食らって(前号参照)それをキッカケに勉強する様になったので、その学期の内にA1クラス(成績順で真ん中のクラス)でトップになれた。(席順は毎月のテストの成績順)

冬季講習の最後のテストの成績で、三学期からのクラス分けがされるのだが、順調に上のクラス(Sクラス)に入る事が出来た。真ん中のクラスの時は、トップを取る事が出来たが、当たり前だが上のクラスに入ったら、またビリの方からのスタート。そしてこのSクラスにはとでもないバケモノが巣食っていた。

一人は僕と同じ渡田中学のM君。そして、川崎中学のY君。だいたいこの2人でSクラスの1番2番を独占していたのだが、彼らは全国模試(代ゼミや駿台)でも、常にトップクラスの成績を納めていた。つまり、日本全国の中学生の中でもトップを走る生徒が二人もいたと言う事だ。他にもソロバン日本一になった人がいて、彼は二桁の掛け算の答えが

迎えました。会社の資金も行き詰まり、毎月100万円がポケットマネーから出ていき、肝を冷やす日々を過ごしておりまして。3ヶ月が過ぎ、やつと世の中が動き出して危機からは脱したのですが、お金の苦労から解き放たれる道を探しました。会社経営にはお金が必要ですから、手取り早くお金を得られそうなXを始めました。これは完全に大失敗でさらに窮地を迎えました。明らかに世の中の動きの本質を見ずに短絡的すぎました。

そんな時にある本に出会いまして、その中に『お金の流れが悪いと感じたら、神社に行ってお賽銭に一万円出さない』と言う事が書かれていました。かなり勇気のいる事でしたが、実際にこれを見て見たらお金の流れが良くなり、2ヶ月後には当時まだ高価だった有機テレビを購入する事が出来ました。

また『お金のソムリエ』と言うセミナーに夫婦で参加してお金とは感謝の対価の一部だと言うことを学びました。それは別に経営を安定させる為に『フクワクス系マーケティング実践会』に入り、お客様との絆作りや自己開示の大切さを学びました。今までも、仕事で顧客満足度を上げる『事には力を入れておりましたが、それは利益を上げるための行動でした。様々な学んでは、利益を追求するのではなく、お客様に喜んで頂き、さらにどうすれば感動してもらうのかを考える様になり

全て頭の中に入っていた。

ちなみに私もなんとか彼らに追いつこうと寝る間も惜しんで必死に勉強していたので、当時開成高校に通っていた兄から「勝好は日本の中学生の中で一番勉強しているよ」と言ってもらった事が有った。私が「そうかな？僕が日本で一番勉強しているかな？」と返し「たら」だって、お前以上に勉強に時間を割くことは無理だろ」と言われ、なるほどなと妙に納得したので覚えている。

父親からも、「身体を壊すから勉強は程々にしなさい」とか、食事中に英語の単語カードを見ていると「食事の時くらい勉強はやめなさい」と叱られるほど勉強漬けの中学生だった。

そんな勉強中心の生活だったが、中学の間からはサイクリングに誘われ、一時の安らぎと開放感を味わう事が出来た。私の大切な思い出で本当にありがたい事である。

三学期も終わり、中学3年生に進級した。佐々木君とは別のクラス(と言っても隣のクラス)になったが、彼と同じ小学校出身で1年生の時から一緒に釣りに行ったりしていた関君、そして前号で紹介した伊藤君と同じクラスになった。

担任の先生は他の中学から新たに赴任してきた東條先生。この頃は、学校の勉強はそつ

ました。利益はその見返り・副産物だと思えるようになり、不思議と経営も安定してきました。

数年前から自社と自身の自己開示開示の為に『エスピーエヌ新聞』を発行する様になりました。またエレクトーン演奏が子供の頃からの趣味でして、3年前に中古のエレクトーンを購入して事務所に置きました。ご来社頂くお客様や営業に来られる方に曲を演奏してひと時の安らぎを感じて頂いております。そして3ヶ月に一度、近所の方をお招きして『エレクトーンミニライブ』を開催して地域の方に楽しんで頂いております。昨年の2月には『能登半島復興支援チャリティーライブ』を開催して、ご来場頂いた方に寄付を募りました。皆様からトータル一万円のご寄付を頂いたので、同額を私が上乗せして計2万円を日赤を通じて能登半島復興支援に寄付させて頂きました。この時にご参加頂いた方からは『能登半島の復興に何か出来ないかしら』と思っていたけど、こうして寄付が出来て本当に良かった、社長ありがとう』と言って頂きました。

以前から、大震災があるたびに寄付はさせて頂いておりましたが、日赤の活動にも寄付をさせて頂く様になり、今回の入会に至りました。

余談ですが「昨年会社近くの郵便局に寄付の振込に行った帰り、道端でCNR国連高等難民弁務官事務所の勧誘が行われていました。話しかけられてお話を聞きました後、勧誘さ

ちのけで、授業中に川崎予備校の宿題をやっていたりして、先生からはかなり目を付けられていた。

そして、川崎予備校の勉強も高校受験に向けて本格的に厳しさを増して来た。ただ、勉強のおかげで成績の順位も徐々に上がっていった。成績順の席も1列8人の6列ある中で3列目から2列目にまで這い上がる事が出来た。

授業中は志望校の名前を書いたハチマキを絞めて勉強をするのだが、当初は『早稲田高等学院』と書いていたが、先生から『開成高校』にしてはどうだ、と言われその気になって志望校を開成高校に変えた。

(続く)



サイクリング (左から筆者、伊藤君、佐々木君)

## 編集後記

ここまでお読み頂きまして、本当に有難うございます。私ごとで大変恐縮ですが、長女が長年所属している井上バレエ団の公演『白鳥の湖』が文京シビックホールで7月26・27日に行われます。今回長女は2羽の白鳥の役で、初めてチラシにも役名・写真付きで紹介されました。ご興味のある方は齊藤までご連絡を頂ければチケットを手配いたします。生のオーケストラの演奏をバックに踊りを披露するバレエは、いつもの日常とは全くの別世界。一度足を踏み入れたらその虜になる事間違いなし。素晴らしい芸術に触れて魂を昇華させて下さい。

エスピーエヌ新聞の方も、こんな事を載せて欲しいとか、こんな事を聞きたいなどございましたら、お知らせいただけると助かります。皆さまと一緒にこの『エスピーエヌ新聞』を作って行けたら幸甚に存じます。今後とも、何卒よろしくお願ひ致します。



↑井上バレエ団『白鳥の湖』の公演チラシはこちらからご覧頂けます



↑SPN 新聞のバックナンバーはこちらからご覧頂けます

れましたが「私も応援したいのですが、只今日赤に寄付をしてきたばかりなんです」と話してお断りしたら、「是非そういう方にご協力をお願いしたいのです」と言われ、断る分けにも行かずこちらにも毎月寄付をする様になりました。

それ以外にも、知人が行っている子ども食堂にも僅かばかりですが毎月寄付をさせて頂いております。

そうすると、不思議ですがお金に困る事が無くなって来ました。不思議です。血眼になってお金を追い求めていた時にはお金がないと逃げたのに、世の為人の為に金を出すと、周り巡って自分に帰って来るのではないかと思います。

こちらの会に入会されている方は皆様、自分の事だけでは無く『世の為人の為に』行動出来る方ばかりです。本当に素晴らしい会だと思えます。そんな会に入会させて頂き、身の引き締まる思いと同時に、自分が出来る事・お役に立てる事は何かと考えて行動していきたいと思えます。今後ともご指導のほど何卒よろしくお願い致します。

もう一つ余談ですが、この会に入会して名簿を頂いて拝見しましたら、私の住む川崎市多摩区の会員さんは私を含め4人だけです。私の周りにはかなりのお金持ちの方が沢山いるのに、残念な事です。私の周りでももう少し会員さんが増える事を願うばかりです。

(全文掲載)